

学習指導要領		都立井草高校 学カスタンダード
<p>(1) ア 自然環境と歴史</p> <p>世界史へのいざない</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史</p>	<p>歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アフリカ大陸で発生し、世界各地へわたった人類が、なぜ現在では乾燥地域となっている大河川の流域に古代文明を成立させたのか、気候変動の歴史と人類の生活や活動とのかかわりについて理解する。 ・ 人類の進化について映像を通して理解し、ほかの人に説明することができる。 ・ 年表や地図を用いて、世界の歴史と日本の歴史の変遷とかかわりを理解し、説明できる。 ・ 現代日本で食べられている動植物がいつごろ、どこで飼育・栽培されるようになったものか、稲、ブタ、小麦、トウモロコシ、ジャガイモなどを具体例として理解する。

学習指導要領		都立井草高校 学カスタンダード
<p>(2) ア ユーラシアの諸文明 自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p> <p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p> <p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエント文明と一神教、契約と法などを通して西アジアの文明にみられる特質を理解し、説明できる。 ・仏教やヒンドゥー教、イスラームの影響などを通して南アジアの文明にみられる特質を理解し、説明できる。 ・漢字と儒教、冊封体制などを通して日本を含む東アジアの文明にみられる特質を理解し、説明できる。 ・古代ギリシアやローマの遺産、キリスト教などを通してヨーロッパに形成された文明にみられる特質を理解し、説明できる。 ・産業革命から始まる資本主義社会の特徴を理解する。自由・平等を求めたフランス革命の精神が、身分に変わる国民概念を生み出し、近代国民国家を成立させることを理解する。 ・欧米列強の進出によって従属化していくアジアの国々の中で、西欧式の国家作りを進め、やがて近隣の国々に進出していく日本を理解し、説明できる。 	

学習指導要領		都立井草高校 学カスタンダード
<p>(3) ア 急変する人類社会 地球社会と日本</p> <p>イ 世界戦争と平和</p> <p>ウ 三つの世界と日本の動向</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題</p> <p>オ 持続可能な社会への展望</p>	<p>科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアの発達に関して、政治や戦争との関りから人々の生活への浸透がみられたことを予測させる。 ・世界大戦が起きた背景を政治的、経済的、軍事的の3観点から大観し、その性質を概観させる。その際は、映像など諸資料を用いて体感しながら思考を深めさせていく。 ・世界大戦における日本の立ち位置と役割に関して、人々の生活を通して考えさせる。 ・列強による植民地支配に関して、従来の知識と結び付けながら戦後果たした役割を理解させる。 ・冷戦について、アメリカとソ連そして第三勢力の台頭を概観し、その構造を理解させる。また、原子力兵器を含めた核廃絶の機運の高まりを日本との結びつきのなかで理解させる。 ・エネルギー問題について、先進国の果たす役割について他の人と議論し理解を深めさせる。